

公表 事業所における自己評価総括表

事業所名	DRK青山スタジオ			
保護者評価実施期間	2026/02/05		～	2026/03/15
保護者評価有効回答数	(対象者数)	72	(回答者数)	38
従業者評価実施期間	2026/01/05		～	2026/02/01
従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
事業者向け自己評価表作成日	2026/03/27			

分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・一人一人のニーズに合わせ、ABA(応用行動分析)を利用したプログラム療育。	・問題行動への適切な対処法を導き出すためのABC行動分析の取り組み。 ・一つの課題を細分化し、スモールステップで進めながら成功体験を重ね、自己肯定感の向上とチャレンジ精神の向上を図っている。	・与えられた課題が難しいときには、お子様に寄り添いながらポジティブな声かけや、苦手な動作を補助するなどの手助け(プロンプト)をする。
2	・お子様のがんばりを見逃さない褒めて伸ばしていくポジティブな声掛け。 ・苦手な事や難しい課題にも楽しく取り組んでいけるよう、お子様ひとひとりに合った興味からの促し。	・他児や療育士と関わりやすい環境と関係性を育み、SSTを行うことによって、お子様の居場所となり社会性を育めるよう支援を行っている。	・お子様の発達段階や個性に応じた難易度の活動を設定する。 ・どんな些細な事でもこまめに褒め、褒めるチャンスを見逃さず、自己肯定感と挑戦心の向上を促す。
3	・お子様の状況に応じて、個別や集団で療育を行っている。	・季節行事に応じて活動プログラムの設定を行っている。	・大人数でのイベントや外部でのイベントを企画する。 ・設備の点検やアップデートを定期的に行い、活動の充実化を図る。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・室内スペースを十分に確保することの困難さ。	・療育設備や事業所の間取りなどによって、お子様の特性や個性、嗜好などによりスペース共有が難しい場面がある。	・屋外での療育等を取り入れて、十分な活動が出来るように配慮する。
2	・建物の2階であるため、外階段を利用したの来所となる。	・建物の2階にあるため、下のテナントに配慮して課題を行うため、行える課題に制限がある。	・状況に合わせた活動場所の設定を行う。
3	・天井が低く、運動に制限が生まれてしまう。	・天井が低く、バドミントンやバレーボールなど実施が難しい運動がある。	・室内でも出来るようなルールを考えたり、屋外での活動も検討する。